



「チームたかしま便り」 ～高島市の医療、介護、福祉に携わる皆様とともに～

第5号
2025. 6 発行

今年の梅雨、暑さはどうなるでしょうか。上手く乗り切っていきたいものですね。

さまざまな職種との連携がすすむよう、出会い話す機会をつくっていきたいと思っています。お互いを理解して、困りごとを解決し、連携を深めていきましょう。関係機関の皆さんの強みが、つながることでより強固な「チームたかしま」として、パワーが発揮され、市民の皆さんの望む暮らしを応援できるように、報告、連絡、相談していきましょう。

「医師と多職種との座談会」 5.30 開催

高島市医師会の先生方の協力により開催しました

◇グループに分かれて

○自己紹介 と フリートーク

高島市を取り巻く医療、介護業界の問題点、感じること等

どのグループもなごやかに、そして盛り上がっていました

参加者数 医師 16名、多職種 24名

介護支援専門員、看護師、相談員、理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、保健師



◇先生の自己紹介

先生からひと言ずつ コメントをいただきました
(少しご紹介します)

「参加されている先生を知りたい」とのご要望で



チームで高島のレベルが
他よりも高いと言われるようなことを
していきたい
皆さん一緒に頑張りましょう



他の人たちに向けて顔を
合わせるというか、情報を入
れるということが大事だと思
います



最近困難事例が多くて、ケアマネさん
にも相談したりとか、いろいろとお世話に
なっております



高島においては、できれば医師も歯科医師も看護師も、ケ
アマネさん、ヘルパーさん、皆対等な関係になってほしいな
と思っています。上下関係はないんですから。
専門職として対等な関係を築けるようになっていってくれたら
なと願っています

「先生からのひと言がとても励みになりました！」 「話せてよかった～」
お時間をいただき、ありがとうございました

「第 151 回高島市医療連携ネットワーク運営協議会」 4.10 開催

参加者数 36名

「湖西圏域の高次脳機能障害の支援状況について」

高島障がい者相談支援センター コンパス
センター長 杉島 隆氏

「滋賀県における高次脳機能障害支援について」

滋賀県高次脳機能障害支援センター
田邊 陽光氏（精神保健福祉士・公認心理師）

◆高次脳機能障害

事故や病気で脳が損傷を受けて引き起こされる脳の後遺症
気づきにくく理解されにくい障害
人生の途中で偶然にあった中途障害
激化する症状、社会的行動障害は顕著

◆支援のポイント

1. 複数の関係機関で連携し、チームで関わる
定期的に個別支援会議を開催
2. 相談してもらい関係性を構築する
本人が理解しやすい手段を使う(図で示すなど)

家族支援が大事 「家族も当事者である」

チームで連携して、相談しながら支援することが何よりも大切
いろいろなサービス、沢山の人の関わってもらうことが大事

◆課題

- ・高次脳機能障害を理解して対応できる支援者が少ない
- ・高次脳機能障害を診断・評価できる医療機関が少ない
- ・社会的行動障害が顕著 施設入所も受け入れが難しい等

事例を通して、わかりやすく説明していただきました



参加された多くの関係者が、高次脳機能障害の方を支援されていることがわかり、驚きでもありました
県や市、コンパス 他さまざまな機関に相談できることがわかりました
抱え込まずに連携して支援いきましょう

ネットワークがこういったつながれる機会になって広がり、より支援がすすむことを願っています

【今後の予定】

「第 154 回高島市医療連携ネットワーク運営協議会」

日時：2025 年 7 月 3 日（木） 14：00～15：15

話題提供：「地域の中で助け合うまちづくり」（仮）

話題提供者：元気な仲間

お待ちしております

会場：安曇川公民館 ふじのきホール

～「たかしまマイウェイノート」を活用してください～

患者さん、利用者さん、ご家族、市民の皆様、どなたでも…

これまでの振り返り、これからの生き方、好きなこと、やりたいこと、もしもの時を記すノートです

その人の思いを知る手掛かりとして、大切なことを確認する手立てとして ご活用ください

いつでもお渡しできます ご連絡ください



【お問合せ先】＜事務局＞ 高島市医師会 在宅療養支援センター
〒520-1121 高島市勝野 1667 高島市民病院内
TEL:0740-20-9005 FAX:0740-20-9006